

「農業者の皆さんとの意見交換会」を開催しました

2月6日(土)に開催しました「農業者の皆さんとの意見交換会」では、第1部の講演会で米・食味鑑定士協会の鈴木会長による「魅力ある・そして売れるコメ作り」、第2部で地域ごとに分かれて、「6次産業化」「地区別の課題」について意見交換を行いました。農業委員会では、皆さんからいただいたご意見を、今後の小諸市の農政に活かしていきます。

■意見交換会で主に出た意見

「6次産業化」について

- 農産物の集約化や地域をまとめ推進していくリーダーが必要。
- 生産者一人では、作る、加工する、販売する6次産業の基本作業は時間的にも能力的にも難しい。
- 年間を通じて生産量・品質・種類等の安定した供給が必要
- 具体的な6次産業化の姿が見えてこないで良かわからない。
- 6次産業化の拠点は、他市町村の真似事ではないけない。
- 高原野菜の地域など6次産業化になじまない地区がある。

「地区別の課題」について

- 高齢化により作業面積に限りがあるので人材支援があると助かる。(中央地区)
- 規模拡大したいが貸し手がない。(中央地区)
- 数年後の後継者不足は明らかであるため、後継者の育成、新規就農者への承継が必要。(北大井地区)
- 高齢化により、現在耕作している農地も売ってしまいたいと考えている人も多くなっている。(南大井地区)
- 遊休農地利用には、そばよりエゴマの方が良いと思う。(三岡地区)
- 農地への進入路がない。基盤整備、道路整備が必要。(大里・西小諸地区)

農業委員会会長 大池 猛氏 逝去

農業委員会の大池猛会長が、去る4月8日に逝去されました。(享年70歳)

大池猛氏は、平成20年から農業委員を務め、この間、会長代理を経て、平成26年より会長に就任し、小諸市の農業振興に尽力されました。

このほか、各種審議会の委員や団体の理事などを務め市政発展に寄与されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

意見交換会で出た意見をもとに、「今後、農業委員会として取り組んでいくこと」、「市や農協へ要望していくこと」について、下記のとおり実施していきます。

「農業委員会として取り組んでいくこと」

- 荒廃地の利用と農地の^{あき}幹旋
- 小諸市の特産物の開発
- 農業技術向上のための講習会の開催
- 農地利用状況の把握、情報収集と共有化
- 年に数回、地域農業者は集まり意見交換を行う
- 米・食味鑑定コンクールで金賞受賞者が誕生したことをきっかけに市内すべての農産物の牽引役となるよう取り組む

「市や農協へ要望していくこと」

- ハウス建設等への助成
- 農業機械のリース、レンタル制度の導入
- 新品種試作の助成
- 6次産業化(生産・加工・販売)におけるリーダーの発掘と育成
- 安価で遊休農地の整備をサポートする体制づくり
- 高齢者でも取り組める作物の導入
- 消費者や市場が何を欲しているのか調査し、市場競争で戦える作物の導入
- 農道・用水路整備等の基盤整備と補助の拡大及び条件の緩和

■農業者年金に加入しましょう

農業者年金は、安心で有利な積立型の終身年金です。保険料を自由に設定でき、納めた保険料は全額、社会保険料控除の対象になります。今から始めて、老後を心配なく豊かにしましょう。

次の要件を満たす方は誰でも加入できます。

- ・60歳未満の方
- ・国民年金第1号被保険者の方
- ・年間60日以上、農業に従事している方

▼問い合わせ先 農業委員会

